

令和7年度 授業改善推進プラン【2年】

小平市立小平第十四小学校

振返りの視点		児童の実態	指導上の課題	教科等	授業改善の視点	具体的な取組	評価
学校経営目標 (短期)	主体的・対話的で深い学びの実現	○自分の考えをもつことができる。 △自分の考えをすすんで表現することをためらうことがある。	・自分の考えを表現する場の設定。	国語	1 「書く」「読む」活動の継続 2 読書活動の充実 3 漢字や言語の特質の理解	・初発の感想や、読み取り後の手紙など、書く活動を通して、 <u>自分の考えを表現する活動</u> を取り入れる。 ・担任や図書館司書の読み聞かせを行い、本に慣れ親しむ。 ・ <u>図書館資料を活用</u> し、季節の言葉や様子を表す言葉を調べる活動を行い、語彙力の向上を図る。 ・漢字の成り立ち調べや、熟語探しを通して、語彙力を高め、日常生活で活用する活動を推進する。	
	基礎学力の定着	○学習課題に、意欲的に取り組んでいる。 △学習の定着に個人差がある。	・意図的な読み書きの場の設定。 ・個に応じた支援の充実。		1 問題解決的な学習の充実 2 四則計算の習熟	・前時の学習との相違点を見付けさせ、既習事項を活用し、問題解決させる。 ・単元の学習の時間だけではなく、年間を通して、家庭学習や習熟の時間を設定する。	
	体力の向上 運動への関心・意欲の向上	○積極的に体を動かしている。 △運動の領域により、関心・意欲に個人差がある。	・めあてに向けて工夫する力の育成。 ・各種の運動遊びの楽しさに触れる場の設定。		1 地域参画型授業の充実 2 学びの共有、発信	・ <u>学童農園と連携した活動</u> を計画的に取り入れる。 ・学習の <u>気付き</u> について交流する。新たな疑問などを共有し、学習計画を立てさせる。	
	健全育成	○年間を通して計画的に地域の自然や学校の生き物に触れている。 ○きょうだい班やなかよし班の活動を定期的に行っている。 △あいさつ運動などを通して自発的な活動を行う必要がある。	・相手の気持ちを推し量る力の育成。 ・自らすすんで、挨拶する心情の育成。		1 表現活動の工夫 2 鑑賞活動の充実	・ <u>まねっこ遊び</u> やリレーなどで楽しみながら歌ったり、演奏したりする活動を多く設定し、表現することに慣れ親しむ。 ・曲に合わせて体を動かしたり、リズムに合わせて手拍子をしたりして楽しみながら曲想を感じ取る。	
	保健体育	・様々な表現方法や素材の体験 ・鑑賞活動の充実	1 様々な表現方法や素材の体験 2 鑑賞活動の充実	図工	1 様々な表現方法や素材の体験 2 鑑賞活動の充実	・様々な表現方法や素材に触れ合うことで、児童の意欲や発想を高める。 ・ <u>作品を鑑賞し合うことで</u> 、他者の作品のよさに気付き、自分の作品の創作に生かすことができるようになる。	
				体育	1 運動遊びの楽しさに触れる 2 帯活動による体力向上	・各種の運動遊びの楽しさに触れ、運動が苦手な児童も楽しめるようなルールや場の設定をする。 ・ <u>単元を通じて必要な感覚づくりの運動</u> に取り組む。	
				道徳	1 話し合い活動や振り返りなど授業形態の工夫 2 生命尊重・いじめ防止に関する心情育成	・ペアでの話し合いの場や全体での発表の場を通して互いの考えを広めたり、深めたりする活動を増やす。 ・ <u>学期に1回以上、生命尊重やいじめ防止を扱った授業</u> を行う。	
				学級活動	1 学級・学年文化の創造 2 きょうだい学級の関わり	・ <u>クラス遊び</u> などを通して学級文化を創り、継続して取り組む。また、学年の活動を定期的に取り入れる。 ・ <u>きょうだい学級に、お礼の手紙を書く</u> など、計画的に交流する。	